



清水港湾事務所 100年間の主要プロジェクト

国土交通省

田子の浦港 中央地区 岸壁の改良 (大型船対応・耐震化)

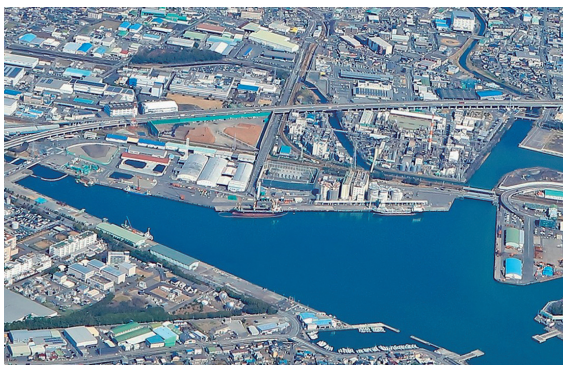
(2006~2018)



田子の浦港において、穀物等を輸送する船舶の大型化に対応するとともに、大規模地震発生時においても物流機能を維持することができるよう、2006年(平成18年)、中央地区の岸壁改良工事(水深12mへの増深、耐震化)に着手しました。

2011年(平成23年)2月に、岸壁部の全面供用を開始し、田子の浦港背後に立地する製紙業・化学工業等を支える物流拠点として、重要な役割を果たしています。

- 主要施設 / 中央2号岸壁(水深12m、延長240m、耐震構造)
航路泊地(水深12m)
- 主な改良内容 / 中央2号岸壁: 水深9m→水深12mへの増深、耐震化
航路泊地: 水深10m→水深12mへの増深
- 事業期間 / 2006年(平成18年)~2018年(平成30年)



田子の浦港 中央地区 (2021年3月)



中央地区に着岸する貨物船 (2021年3月)



鋼管杭の打設工事
(2007年4月)



岸壁床版の設置作業
(2008年11月)



中央2号岸壁の利用状況

穀物(トモロコシ)の荷揚げ
(2021年5月)



岸壁本体(ジャケット式栈橋)の据付作業
(2009年8月)



改良工事完成後の中央2号岸壁
(2011年6月)



セメントの荷揚げ
(2021年5月)